



広島の子

令和4年5月31日

NO. 5



よく学び よく楽しんだ 修学旅行

5月26日(木)~27日(金)、6年生と一緒に、一泊二日の修学旅行に行ってきました。ここ2年間は、新型コロナウイルス感染症の影響で近畿圏内でしたが、3年ぶりに広島を訪れました。



1日目、新幹線で広島に向かいました。子どもたちは、自家用車で移動することが多いようで、新幹線、路面電車、フェリーなど、「初めて乗る」という子が多くいました。

路面電車を降りて最初に目に飛び込んできたのは原爆ドーム。崩れた外壁、むき出しの骨組みが、爆発の威力を今に伝えています。平和記念資料館では、写真や実物で、原爆の惨状を目の当たりにしました。昼食をはさんで平和記念公園内の碑巡り。ボランティアガイドさんに説明してもらうことで、ポイントがよく分かり、子どもたちもとても集中して話を聞いていました。



次に、宮島の厳島神社を訪れました。シンボルの大鳥居は工事中でシートに覆われており残念でした。しかし、夕方ということもあってかほぼ貸し切り状態で、ゆっくり見て回ることができました。そのあとは、お待ちかねのお土産タイム。シカの角のかぶり物に、サングラス、アイマスクと、様々に変身して旅を満喫していました。



2日目、最初に訪れたのはヌマジ交通ミュージアム。まず、「空気」についての科学実験を見学、空気に重さのあること、ものを浮かせる力があることを楽しく学びました。館内には、車、船、飛行機など、さまざまな乗り物のミニチュアが陳列されており、体験コーナーなどで楽しく過ごしました。

旅の締めくくりは、みろくの里。ミールクーポンでお腹を満たした後、ジェットコースター、観覧車、メリーゴーラウンドと、3時間をフルに活用して遊園地を満喫しました。班別行動でしたが、子どもたちは常にルールを意識して、上手に折り合いをつけながら楽しんでいたように思います。



子どもたちは、あいさつや礼儀を忘れず、時間を守り、オンとオフを切り替えて楽しんでいて、素晴らしい旅行でした。